

イラストクーポン 「商店街に興味を」

日高高生描く 紀州鉄道車内で配布



イラストを描いた生徒たち（御坊市で）

御坊市の日高高校の生徒たちが、市内を運行する紀州鉄道の乗客に、市商店街振興組合連合会（坂井和夫理事長）から配られる「おもてなしクーポン」に掲載する地図のイラストを描いた。

同連合会は、紀州鉄道と連携し、鉄道の利用者に商品を値引きするなど様々なサービスを実施している。「ごぼう寺内町ふれあい商店街」を、昨年10月から期

間限定で4回にわたって実施している。

紀州鉄道を利用している日高高校の生徒たちに商店街に関心を持ってもらうようと、同連合会が、サービスなどを説明するクーポンの

イラストを依頼した。担当したのは、同高の文化系クラブ「泡の会」の3年生の女子生徒5人。文化祭の冊子でイラスト作品を発表するなどの活動に取り組んでいる。

生徒たちは、昨年12月末から今年7月末にかけて、色鉛筆を使って、地図に御坊市ゆかりの宮子姫や祭りで練り出される「四つ太鼓」などを丁寧に描いている。

クーポンはA4判で、地図のほか、商店街の29店舗のサービスの内容が書かれている。500枚作られ、利用期間は9月から11月末まで。希望者は紀州鉄道の電車内で受け取る。同クラブ部長の伊藤茉佑さん（18）は「手書きの温かさを出すように描いた。私たちのイラストを見て商店街に興味を持ってもらうきっかけになってほしい」と話していた。